

戸塚区連合町内会自治会連絡会10月定例会 議 題 説 明 書

健康福祉局高齢健康福祉課

議題名： 第9期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計素案に係るパブリックコメントの実施について(よこはまポジティブエイジング計画)

【内容】

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画)は、高齢者に関する各種の保健福祉事業や介護保険制度・認知症施策に関する総合的な計画として、取り組む課題を明らかにし、目標などを定めた法定計画です。

令和6年度から8年度の3か年を計画期間とする、第9期計画の策定にあたり、市民の方から広くご意見・ご提案等を伺うため、素案をもとにパブリックコメントを実施します。

【例年あげている議題か？】

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画は3年毎に見直しを実施しており、その都度、素案に関するパブリックコメントについてご説明しています。

**【会議に参加している地区連長が、各地区の単会会長に何を伝えればいいのか？】
【各単会の会長に何を依頼したいのか？】(具体的に記入してください。)**

素案について、皆様の幅広いご意見を待ちしております。
パブリックコメント実施について知っていただくため、各自治会町内会1部ずつ資料を配布いたしますので、ご承知おきください。

意見募集の期間は、令和5年11月1日(水)から令和5年12月1日(金)までです。

【その他、注意することなど】

問合せ先

担当部署 健康福祉局高齢健康福祉課

担当者名 清水

TEL 671-3412 FAX 550-3613

**第 9 期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画
 (よこはまポジティブエイジング計画) 素案及びパブリックコメント実施について**

1 趣旨

令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 年間の計画期間とする「第 9 期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画 (以下「第 9 期計画」という。)」の策定に向け、素案をまとめましたので、その内容及びパブリックコメントの実施について、御説明します。

2 第 9 期計画素案

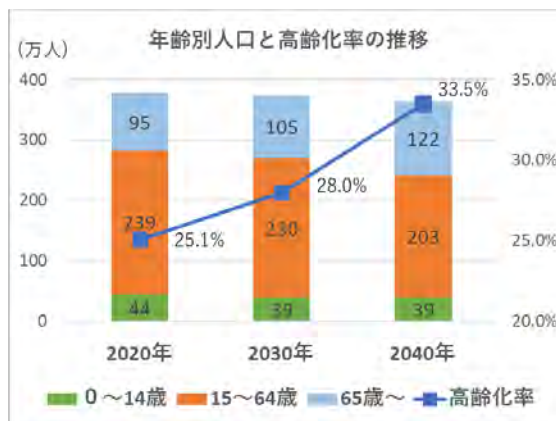
別紙 1 : パブリックコメント用リーフレット

別紙 2 : 素案冊子

3 高齢者を取り巻く状況

(1) 高齢者人口の増加

横浜市の高齢者人口は引き続き増加傾向であり、2040 年には市内人口の 3 人に 1 人が高齢者になると推計されています。



(2) 要支援・要介護認定者数、認知症高齢者数の増加

高齢者人口の増加に伴い、要支援・要介護認定者数、認知症高齢者数ともに増加が予想され、2040 年にかけて介護・医療ニーズの急増が見込まれることから、介護サービスのさらなる充実が必要になります。



4 素案の概要

(1) 基本目標

第8期計画から引き続き、「ポジティブエイジング」としました。

(2) 主な取組

ア 生き活きと暮らせる地域づくり

データに基づく高齢者ごとの健康課題に着目した支援、高齢者と地域活動等とのマッチング支援、高齢者の社会参加に対するインセンティブ付与を新たに行います。

イ 施設・住まいの整備

特別養護老人ホームについて、第8期計画期間は3年間で、1,350人分程度の新規整備を進めましたが、第9期計画期間の3年間では、700人分程度の新規整備とします。一方で、待機者数の縮小に向けて、医療的ケアが必要な方を積極的に受け入れた施設への助成を拡充するなどの取組を進めます。

ウ 介護人材の確保

介護の魅力発信に向けた広報の充実や、介護事業所におけるICT・介護ロボット等の導入支援、手続等のデジタル化、タスクシフティング(介護助手の活用)など、介護現場の生産性向上に向けた取組を推進します。

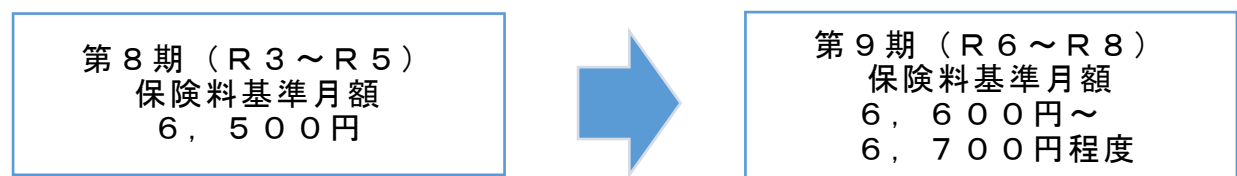
エ 認知症施策の一層の推進

市民の認知症に関するさらなる理解の促進や、認知症の方の社会参加促進、認知症バリアフリーの推進などに重点を置き、施策を進めていきます。

オ 介護保険料の設定

第9期計画においては、介護サービス利用者数の増加等により介護給付費が増え、保険料が大幅に上昇する見込みですが、介護給付費準備基金を活用することで上昇を抑制します。

この結果、現時点では保険料基準月額を6,600円～6,700円程度と見込んでいますが、最終的には介護報酬の改定や各種制度改正の影響等を踏まえ、令和6年度予算案とあわせて公表します。



5 計画の愛称

本計画を、市民の皆様にとって、覚えやすく親しみやすいものとするため、「よこはまポジティブエイジング計画」という愛称を新たに付けました。

6 パブリックコメントの実施

(1) 意見募集期間

令和5年11月1日（水）から12月1日（金）まで

(2) 意見募集及び周知方法

ア 素案の公表・意見提出方法

計画素案・素案説明動画をホームページで公表するとともに、窓口(※)で素案冊子・市民向けリーフレットを配布します。ご意見は、電子申請、郵便、FAX、電子メールで受け付けます。

※市役所・区役所、地域ケアプラザ、老人福祉センター、地区センター等

イ 関係団体等への説明

市・区町内会連合会、市・区民生委員・児童委員協議会、市社会福祉協議会、市医師会、市病院協会、市老人クラブ連合会等に対して説明を行い、ご意見を伺います。

ウ 市民説明会

(ア) 開催日時

11月10日（金）14時から15時15分まで（13時30分受付開始）

(イ) 開催場所

横浜市役所1階 横浜市市民協働推進センター スペースA・B

(ウ) 説明会への申込（要事前申込）

10月23日（月）から申込受付開始。先着60人まで。

7 策定スケジュール（予定）

令和5年	10月23日（月）	計画素案公表
	11月～12月	パブリックコメントの実施、市民説明会の開催
令和6年	1月～2月	計画原案のとりまとめ、介護保険料の推計
	3月	計画策定、介護保険条例の改正
	4月	介護保険料の改定

担当
健康福祉局高齢健康福祉課
川添、武井、清水
電話：045-671-3412
メール：kf-keikaku@city.yokohama.jp

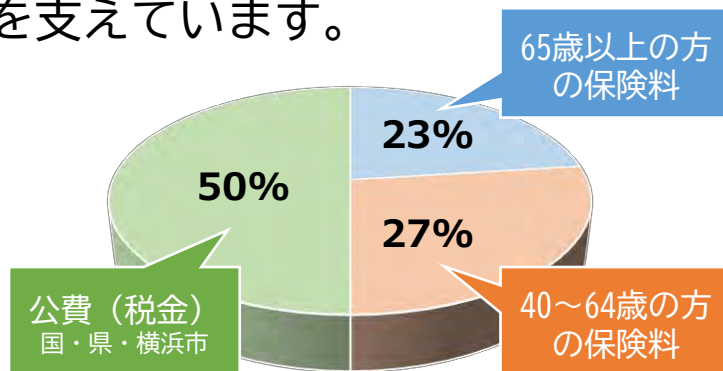
介護保険料

社会全体で「介護保険」を支えています。

介護保険は、「公費」と、40歳以上の方が納める「保険料」を財源として運営しています。

介護保険料は、介護が必要な方の介護保険サービス費用などをまかなうために使われます。

金額は、3年間のサービスの給付額等の見込みに基づいて算定します。



令和6年度～8年度の保険料基準額

第8期（令和3～5年度）
保険料基準月額
6,500円



第9期（令和6～8年度）
保険料基準月額
6,600円～6,700円程度

ご意見の提出方法

次のいずれかの方法でご意見・ご提案をお寄せください。

なお、よこはまポジティブエイジング計画(素案)の詳細については、横浜市役所・各区役所・地域ケアプラザ・老人福祉センター・地区センターで素案冊子を配布している他、市のホームページでも公開しています。

パブリックコメント実施期間
< 11月1日（水）～12月1日（金） >

郵便

⇒ 市役所・区役所・地域ケアプラザ等で配布している「素案冊子」に付属のハガキをご使用ください。

FAX

⇒ 045-550-3613

電子メール

⇒ kf-keikaku@city.yokohama.jp

携帯電話
スマートフォン
パソコン

⇒ ホームページの素案をご覧ください。
(二次元バーコードまたは下記のキーワードで検索)

横浜市 ポジティブ

検索



※いただいたご意見の概要と、それに対する本市の考え方をまとめ、後日、ホームページで公表します。ご意見への個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。なお、第三者の利益を害する恐れのあるものなど内容により公表しない場合があります。

※ご意見を正確に把握する必要があるため、電話によるご意見は受け付けておりません。

※ご意見の提出に伴い取得した個人情報、個人情報保護に関する法律の規定に従い適正に管理し、本案に対する市民意見募集に関する業務にのみ利用させていただきます。

問合せ先
横浜市 健康福祉局 高齢健康福祉課 計画調整係
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10(横浜市庁舎16階)
☎045-671-3412 fax045-550-3613 ✉kf-keikaku@city.yokohama.jp

市民意見 募集

(パブリックコメント)

高齢者に関する保健福祉事業・介護保険制度・認知症施策に関する総合的な計画を策定します。皆様のご意見・ご提案をお寄せください。

<募集期間>

令和5年11月1日（水）～12月1日（金）

計画期間2024年度-2026年度

よこはま ポジティブエイジング計画 ～歳を重ねても自分らしく暮らせるまちを目指して～ (素案)

第9期 横浜市 高齢者保健福祉計画
介護保険事業計画
認知症施策推進計画

ポジティブ エイジング
POSITIVE AGING とは？

横浜市は、次のような思いを
「ポジティブ エイジング」に込めています。

誰もが歳を重ねる中で、

- ▶積極的で活力ある高齢社会を作りたい
- ▶人生経験が豊かであることを積極的に捉え、高齢者を尊重し、その人らしい尊厳をいつまでも保つことができる地域を目指したい

心身の状態が変化したとしても、

- ▶高齢者が自らの意思で自分らしく生きることができるよう、一人ひとりの「生活の質（QOL）の向上」につなげていきたい

「自分らしい高齢期の暮らし」を支える主な取組

健康で自立した生活のために



介護予防・健康づくりと自立支援

○フレイル※の予防・改善に向け、民間企業等と連携した幅広い普及啓発と、高齢者一人ひとりに合った介護予防の支援を行います。

※高齢期にからだどころの機能が低下し、将来介護が必要になる危険性が高い状態。

▶ 素案11、15ページ

○通いの場等への参加者に、インセンティブを付与する「高齢者社会参加推進ポイント事業（仮称）」を実施し、通いの場等への参加を促進します。

▶ 素案17ページ

知識や経験を生かした社会貢献活動の推進

高齢者一人ひとりのニーズと、地域活動や企業等での有償・無償ボランティア活動のマッチングを行う「シニア×生きがいマッチング事業」を実施します。

▶ 素案19ページ

地域活動・サービス情報の充実

ウェブサイト「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」で、身近な地域活動を紹介します。

▶ 素案20～21ページ

将来に備えるための支援

○元気なうちからこれからの人生をどう歩んでいきたいか、自分の思いを記す「エンディングノート」を配布し、活用講座を実施します。

▶ 素案12ページ

○もしものときにどのような医療やケアを望むかを話し合うきっかけになる「もしも手帳」の配布を進めます。

▶ 素案12～13ページ

○認知症をはじめ、自分ひとりで判断することが難しい方が安心して生活できるよう、成年後見制度の利用を支援します。

▶ 素案25～26ページ

心や体に変化を感じた時



相談先の充実

○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局・薬剤師の普及を促進します。

▶ 素案24ページ

○地域ケアプラザの業務の質の向上に取り組みます。

▶ 素案22、25ページ

認知症の早期発見・早期対応

身近な医療機関で受けられる、「もの忘れ検診」（認知症の簡易検査）を広く周知します。

▶ 素案44ページ

地域での支え合いの推進・多様なサービスの提供

地域住民やボランティア、NPO法人、民間企業等と連携し、居場所づくり、掃除、買い物、配食、見守り等の生活支援を充実します。

▶ 素案17、21ページ

医療や介護が必要になった時



介護保険サービス等の充実

○住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう介護保険サービス等を充実します。

▶ 素案23ページ

○特別養護老人ホーム等、ニーズに応じた施設・住まいの選択を支援します。

▶ 素案28～32ページ

在宅医療・介護の連携推進

必要な時に適切な医療・介護サービスが受けられ、疾病の重症化や介護の重度化が予防できるよう、医療と介護の連携を進めます。

▶ 素案24ページ

認知症の人や家族の居場所の充実

○認知症の本人、家族、関係者が気軽に参加できる身近な居場所を充実します。

○認知症の方が自身の希望等を語り合える「本人ミーティング」の開催や、本人・家族・地域住民等がお互いを理解しあう場である「認知症カフェ」の支援を行います。

▶ 素案42ページ

身近な相談窓口・役立つ情報のご案内

地域ケアプラザ

「地域の身近な福祉保健の拠点」です。（おおむね中学校区に1か所あります）

誰でも利用でき、専門職や地域活動などに詳しいコーディネーターが、高齢者等の地域での生活の困りごと等に関する相談受付や支援を行っています。

▶ 素案22、25ページ

高齢期に必要な情報

○ふくしらべ
高齢者福祉の情報をまとめたサイトです。

▶ 素案10ページ

○ハートページ
介護保険の総合案内パンフレットです。

▶ 素案13ページ

高齢者施設・住まいの相談センター

高齢者の施設や住まい※に関する相談窓口として、専門の相談員が、窓口や電話、オンラインでの個別・具体的な相談や、施設の基本情報・入所待ち状況などの情報を提供します。

※特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホームなど

▶ 素案32ページ

